

## 3月定例会 議案審査 産業建設委員会

### 飛騨高山にぎわい交流館「大政」の 設置及び管理に関する条例制定

**問** この施設の役割と機能を果たすためのソフト事業はどのように展開するのか。

**答** 市民や観光客の休憩やくつろぎの場としての利用、地元商店街・産業団体によるまちゼミの開催、また、マルシェの開催など、施設前の市道も有効活用しながら、市民や観光客で賑わうような取組を行っていく。



3月14日「大政」の現地調査

### 高山市下水道条例及び高山市農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部改正

**問** 今回、国府町の荒城地区農業集落排水処理施設を国府浄化センターに統合するが、今後の統合・再編の見通しは。

**答** 現在、国府地域のほかに、久々野地域と奥飛騨温泉郷地域で統廃合に向けた管きよの整備を進めている。令和27年度までには全体として50施設のうち、17施設の廃止を計画的に行いたい。



国府浄化センター

## 2月臨時会補正予算審査

令和4年2月8日に新型コロナウイルス感染症対策関連予算及び補正予算の専決処分など4件を審査するため臨時会を開催しました。内容は以下のとおりです。

### 一般会計補正予算(専決処分)

- ◆令和3年度高山市一般会計補正予算  
(第13号) **9億1千4百万円**  
・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業
- (第14号、15号) **9億2千万円**  
・大雪に伴う除雪委託料の増額


### 新型コロナウイルス感染症対策関係

- ◆令和3年度高山市一般会計補正予算  
(第16号) **1億6千6百万円**  
・新型コロナウイルス対策産業団体等消費活性化策支援事業補助金(第4弾)  
・雇用調整支援事業補助金の増額



### ■主な質疑

**問** 生活道路の除雪にはもう少しスピード感が  
必要ではないか。

**答** 今年度の雪は、絶え間  
ない追い打ち型であり、保有する除雪機械では、幹線道路や準幹線道路の確保が精一杯であった。生活道路の除雪対応の遅れは認識している。それらについては、幹線道路が落ち着いた1月中旬より順次対応を行った。

**問** これまでの産業団体等消費活性化策支援  
制度は、上限額が500万円であったが、  
今回、300万円とした根拠は。

**答** これまでは、実施期間を半年としていたが、  
今回は、オミクロン株の急速な感染拡大  
状況などから、5月末までの3か月という短期間  
で春先の消費喚起に取り組んでいただくことから  
上限額を300万円とした。